

委員長：神谷 定雄

副委員長：兼子 義信

委員：柴田 勝

委員：岩城 道雄

委員：川合 正彦

委員：神谷 文明

委員：永田 起也

令和7年9月定例会 企画文教委員会 報告



報告概要

今回の委員会では、9月19日2つの議案を取り上げました。

1つ目は「議案54号令和7年度知立市一般会計補正予算」、2つ目は「認定1号令和6年度知立市一般会計歳入歳出決算認定です。

どれも市の将来や市民生活に直結する重要な内容です。

議案第54号： 企業版ふるさと 納税 (500万円)

企業が市に寄附すると税控除
が受けられる仕組みを活用。

名古屋銀行を通じ、トーヨー
セキュリティイーエス社か
ら寄附を受け贈呈式も開催。

寄附金は教育・文化・防災・
福祉などに充当。

議案第54号：
文化会館コンデ
ンサ更新
（154万円）

市民文化の拠点である
パティオ池鯉鮒では、
老朽化した電気設備（
コンデンサ）を更新。

安全で安定した施設運
営を維持し、市民が安
心して文化芸術に親し
める環境を確保。

議案第54号：
猿渡小学校用地購入
(1億5,300万円)

- 将来的な児童数増加に備え、隣接地を1000㎡購入。
- 代替駐車場や施設拡張に対応できる基盤を整備し、柔軟な学校運営を可能に。

議案第54号：
ラーケーション
事業
(1,700万円)

- 教職員と児童生徒が家族・地域と学びを深める休暇制度。
- 令和7年度4～7月、児童生徒1,386人、教員34人が利用。前年同期比約1.4倍に。

議案第54号：
町内会アプリ導入
(57万円)

- 町内会の行事や出欠確認をアプリで実施。高齢者には従来通り紙も併用。
- 効率化と参加促進を両立し、地域活動を支える仕組み。

議案第54号：
西丘コミュニティ
センター屋根改修
(473万円)

- 雨漏りが発生していたため屋根を防水改修。
- 利用環境を改善し、施設の長寿命化と地域活動の継続を保障。

知立市の財政まとめ（認定1号令和6年度知立市一般会計歳入歳出決算認定）

【市の規模と財政の全体像】

- ・一般会計決算額：約272億円（前年度比＋3億円）
- ・実質収支：約14億円の黒字
- ・基金残高：51億円超（財政調整・減債・公共施設整備など）
- ・自主財源比率：61.3%（県内でも高水準）

【健全性の指標】

- ・公債費比率：15.8%（国基準25%以下）
 - ・経常収支比率：94.6%（やや高止まり）
- 財政の健全性は維持も、物価高騰・施設老朽化が課題。

質疑応答（企画文教委員会より）

【Q1】市の借金は増えていませんか？

A：駅高架事業などで一時的に増えましたが、市債残高は約92億円。
公債費比率15.8%と健全な範囲で、計画的に返済しています。

【Q2】市の貯金（基金）はどのくらいありますか？

A：財政調整基金などを合わせて51億円超を確保。
物価高騰や災害など突発的支出にも備えられます。

【Q3】財政運営で今後重視する分野は？

A：教育・防災・福祉を重点分野とし、学校整備やDX化を進めます。

【Q4】経常収支比率が高いが問題は？

A：人件費や扶助費の増加が要因。業務効率化と省エネ化で改善を図ります。



認定第1号：
子どもサポート教員
(7,700万円)

- 小中学校に**18名**を配置し、授業補助や不登校児支援を実施。
- 教員の負担を軽減し、子どもに寄り添う教育を推進。

認定第1号：
子ども会補助金
(31万円)

- 市内17の子ども会に補助金を交付し、地域行事や活動を支援。
- 子どもの交流と地域との絆を深め、健全育成に寄与。

認定第1号：コミュニティスクール (120万円)

- 学校運営に地域住民が参画。
- 家庭・学校・地域が協力し、子どもを社会全体で育む仕組みを広げる。

認定第1号：
経常収支比率・
公共施設**LED**化
(100万円)

- 人件費や維持費増で経常収支比率は高止まりの課題。
- 一方で**LED**化を進め、省エネと財政健全化を両立。

認定第1号： 防犯用具補助 (480万円)

- 防犯カメラなどの設置に補助を行い、安全な地域づくりを推進。
- 市民の安心・安全を支える施策。

まとめ

- 補正予算では教育・防災施策が前進し、
- 決算認定を通じて成果と課題が整理されました。
- 市民とともに持続可能なまちづくりを進めてまいります。